

SDGsの取組みPR

記入日：令和2年6月5日

① タイトル	生徒が“先生”、農業生産者と共に育むGAP
② 関連するゴール	
③ 目的・概要	<p>地球環境と密接に結びつく、持続可能な農畜産物の生産には、将来を担う人材を確保するための農業高校の役割が非常に大きい。岐阜農林高校流通科学科では、SDGsに関わる活動の一環として、農業生産工程管理（GAP）に平成29年から取り組み、地域農家へGAP支援を行うなど、令和2年3月農林水産省「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」において生産局長賞を受賞した。</p> <p>今後も継続的に、SDGsに基づくGAP教育と、地域へのGAP支援を通して、世界共通の目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」の普及を進めていく。</p>
④ 詳細	<p>【取組内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 『GAP』（農業生産工程管理）を高校教育に取り入れ、その取り組み、学習、実践により、持続可能な農業を目指す。 『ふるさと教育』の一環として、GAP認証のためのノウハウを公開。生徒がアドバイザーとして地域農家のGAP認証の取得を支援する。 『ホストタウン岐阜』の一員として、岐阜にお迎えする2020東京オリパラの代表選手をSDGsの理念に基づいたGAP食材でおもてなしを企画する。 <p>【業務目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 『GAP』認証を取得すると共に、このレベルを維持することで持続可能な農業に向けたノウハウを蓄積する。 『ふるさと教育』の一環として、SDGsに基づいたGAPの普及に努める。 『ホストタウン岐阜』の一員として、岐阜にお迎えする2020東京オリパラ出場国のカナダ、スロバキアの両選手団にSDGsの理念に基づいたGAP食材を提供する。 <p>【結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> GLOBALG.A.Pを水稲で認証取得、JGAPを青果物で認証取得。現在も認証更新に向け、学習を継続している。 農林水産省「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」において生産局長賞受賞。生徒が考案した「GAPトリアージ」をもとに、GAP認証を支援しノウハウを公開している。 内閣官房「GAPおもてなしコンテスト」事務局長賞を受賞。岐阜をホストタウンとする2020東京オリパラ各国代表団のために、おもてなしを実践し好評を得ている。 <p>【連絡先】 岐阜県立岐阜農林高等学校 流通科学科 科長 松尾 正 電話 058-324-1145 e-mail p33616@gifu-net.ed.jp</p>    

⑤関連URL	GAP取り組み事例 https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/gap/attach/pdf/g_data1-18.pdf GAPおもてなしコンテスト https://gap.onsen-ouen.jp/teams/4
フリガナ	ギフケンリツギフノウリンコウトウガッコウ リュウツウカガクカ
会員名	岐阜県立岐阜農林高等学校 流通科学科